



新年のご挨拶

大分大学医学部附属病院
病院長 門 田 淳 一



新年、明けましておめでとうございます。

病院長を務めさせていただいております門田淳一(かどたじゅんいち)と申します。専門は呼吸器内科・感染症内科です。

大分大学医学部附属病院を代表して、年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、今年は天皇陛下の退位と皇太子さまの新天皇の即位の年であり、平成から新たな年号に代わる年となります。本院においても2010年より開始となった再整備もほぼ完了し、手術室も15室に拡充され、ロボット支援下内視鏡手術やハイブリッド手術など患者さんに優しい最先端の医療を提供できる体制が整いました。また、本年末には外来棟1階東側の整備が終了し、大分大学医学部附属病院として新たな時代に入ります。

わが国は欧米先進国の2~5倍のスピードで高齢化が進み、すでに超高齢社会に突入しています。2025年には団塊の世代が75歳以上となり、全人口に占める75歳以上の割合が18.1%になると予想されています。今後もさらに少子高齢化が進むといわれており、2040年には高齢化率がピークとなります。大分県の高齢化も例外ではなく、このような時代の変化に合わせた病院の機能分化、すなわち高度急性期・急性期病院から回復期・慢性期、そして在宅・介護施設へといった、入院医療から入院外医療への切れ間のない連携が必須となってくると思われ、現在大分県では2025年に向けて地域医療構想調整会議のなかで検討されています。そういった医療が変化していくなかで、当院は大分県における最後の砦として、県民の皆様のニーズにお応えすべく最新・最先端の医療を提供する高度急性期・急性期病院としての役割を担っており、昨年にはがんゲノム医療連携病院の指定を受けました。

これまで以上に高度な医療を提供できる新しい時代に入った病院で職員一同気持ちを新たに、今後も患者さん本位の最良の医療を提供すべく努力して参る所存です。今後とも引き続き皆様のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(文責 病院長)

病院職員の過重労働軽減に関するお願い

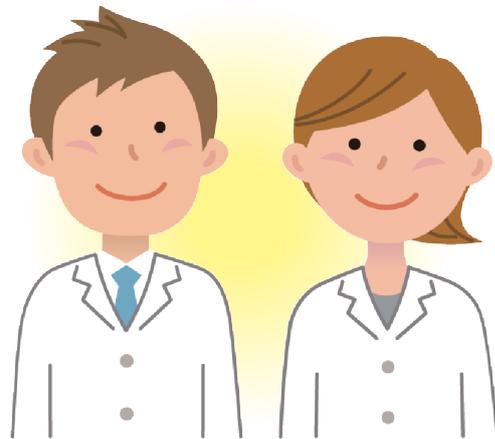
昨今、「働き方改革」が国を挙げて進められるなか、厚生労働省から、「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」という各医療機関で速やかに取り組むべき項目について、通知が行われました。当院でも時間外労働や休日労働など長時間労働が目立ち、慢性的な過重労働の状態が続いているため、医療の質を落とさないためにも、患者さんやご家族の皆様には、以下についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 病状の説明や手術・処置の説明は原則、勤務時間内に行います。

ただし、診療等の関係や緊急事態の場合はこの限りではありません。

(平日 8:30~17:15)

これまで、病状説明等を夕方以降や休日に行うことが多く、医療従事者の慢性的な長時間労働の一因となっております。これを解消するため医療従事者からの説明やご相談は原則勤務時間内とし、同じ説明やご相談は可能な限り複数回行わない設定とさせていただきます。ただし、説明した内容が十分にご理解いただけていない場合等は、ご遠慮なくご質問下さい。お仕事など調整が難しいとは思いますが、原則時間内（平日 8:30-17:15）の設定にご協力をお願い申し上げます。



2. 土日、祝日、平日夜間は、当直・当番医師が主治医に代わり責任を持って対応します。

土日、祝日、平日夜間の診療については、当直医や当番医師が対応させていただきます。必要に応じて、主治医と連絡を取りながら適切な診療を行いますのでご安心ください。

平成30年10月17日
大分大学医学部附属病院長

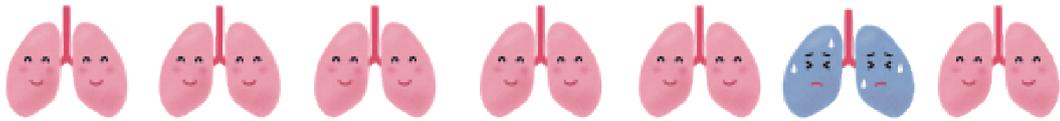
平成31年度ぜんそく教室の開催予定のお知らせ

平成31年4月から11月(8月はお休み)
第1水曜日 午後0時30分から30分程度

さまざまなテーマで『ぜんそく』について、わかりやすく説明をします。

対 象 ぜんそく患者さんとその家族です。**ふるってご参加ください！**

場 所 内科看護外来 ※場所のわからない方は内科外来受付にお越しください。



(文責 呼吸器内科)

第15回八方塾(大分大学病院市民公開講座)の報告

第15回目となる八方塾は、平成30年11月14日(水)に開催されました。「薬を正しく使おう!!!」という総合テーマで、薬剤部 佐藤雄己副部長が「薬の正しい知識～耐性菌と抗菌薬(抗生物質)～」、龍田涼佑主任 が「薬の正しい飲み方・使い方～ポリファーマシーとは?～」と題して講演しました。

今回の講演では、耐性菌が生じる仕組みや抗菌薬を正しく使用するためのポイント、ポリファーマシーの問題点や薬との上手な付き合い方について講演がありました。



次回の第16回八方塾は、診療科・テーマは未定です。今年5月頃開催予定で、詳細は新聞等でお知らせします。申し込みや予約は不要で無料ですので、どうぞお気軽にお越しください。

問い合わせ先:大分大学医学部附属病院医事課 患者サービス係

☎:097-586-5250 (平日9:00~17:00)

(文責 医事課)

南海トラフ巨大地震を想定した訓練について

南海トラフ巨大地震が30年以内に発生する確率が、平成30年1月に70~80%に引き上げられました。この地震が発生すると、大分県も甚大な被害を受け、その被害想定は最大で、死者2万2千人、負傷者6千人（うち重傷者2千人）、最大避難者数16万9千人とも言われており、沿岸部の主要な病院は、津波や液状化の影響で機能停止に陥ります。大分大学医学部附属病院は、海拔100mの高台に位置しており、建物は耐震構造に優れ、高度救命救急センターを有する災害拠点病院であることから大分県の最後の砦として活動する責務があります。

本年度は、2つの大きな災害訓練を行いました。8月4日には、内閣府の主催する大規模地震時医療活動訓練に被災県として参加し、災害対策本部の立ち上げと災害派遣医療チーム（DMAT）との連携を中心とした訓練を行い、グラウンドヘリポートを使った傷病者搬送訓練なども行いました。また、10月13日には、多数傷病者受入を中心とした病院内の訓練を行いました。300名を超す参加者で、医療科・看護学科学生による傷病者役も100名以上準備し、一度にたくさんの患者さんが来院しても対応できるように訓練を重ねています。

（文責 災害対策室）



ふれあいコンサートについて

本院では、つらい治療や、長期の入院生活を送られている入院患者さんに少しでも楽しんでもらおうと、年2回、7月と12月に院内の外来ホールで、「ふれあいコンサート」を開催しております。今年度は、7月開催が台風の影響により中止になり、また、病院再整備を行っていたため2年ぶりの開催となりました。

今回は、平成30年12月20日に開催され、外来ホールにクリスマスツリーを設置するなど、会場に季節感を取り入れました。学生ボランティアや職員が、患者さんの車椅子搬送を行い、本学文化会邦楽部卒業生による社会人グループと大分県内の数々の音楽イベントに出演する女性



ことうた（琴の演奏）



Cat's Eye（キャッツアイ）

ヴォーカルユニットの2団体が出演し、幅広い年代の方に馴染みのある曲、クリスマスソングなどの曲目を演奏し、和やかな雰囲気にもまれ終了しました。

（文責 総務課）

初診完全予約制が始まります

平成31年 **3月1日**～ 神経内科

平成31年 **4月1日**～ 歯科口腔外科



初診完全予約制の診療科はかかりつけ医等の医療機関から予約及び紹介状が必要です。

【初診完全予約制の診療科】

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

腎臓外科・泌尿器科

産科婦人科（不妊患者・妊娠患者は対象外）

眼科

【紹介状必須の診療科】

皮膚科（形成外科を除く）

小児科（専門分野を選んでご連絡いただきます）

NEW 神経内科（平成31年3月1日～）

NEW 歯科口腔外科（平成31年4月1日～）

総合患者支援センター受付

（受付時間 平日 8：30～17：00）

電話：097-586-6360

FAX：097-586-6358



あなたの**声**を待っております。良い**病院**になるために



患者さんの「声」は要約して載せておりますのでご了承願います。

声

おむつ交換ができるトイレを増やして欲しい。・トイレ+おむつ交換台が一緒になっているトイレ。・外来、4階（20代女性 入院）

回答

おむつ交換の出来るトイレを増設するには、現在のトイレの面積に制限が有り、増設は難しいと考えております。外来棟にはベビーシート、ユニバーサルシート、ベビーベッドを1階に4箇所、2階に3箇所用意していますのでそちらをご利用下さい。また、病棟におけるおむつ交換の出来るトイレは、患者以外を想定していないため設置していません。今後関係部署と必要性等を検討していきたいと思っております。

声

緊急時や消灯くらいまでの物音は気になりませんが、ナースステーションに近かったので、夜中の出入りとかがちょっと気になりました。防音対策はした方がよいかと思っております。お世話になりました。（40代女性 入院）

回答

消灯後は足音やドアの開閉など静かに行うよう周知しました。また、ナースステーションのドアは閉め、中での作業音や話し声が外にもれないように注意喚起いたします。

（文責 病院長）

大分大学医学部附属病院の理念等について

【理 念】

本院は、

「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する。

【基本方針】

本院は、

- 患者本位の医療を実践する。
- 医療の質及び医療の安全性の向上に努める。
- 医学、医療の発展と地域医療の向上に寄与する。
- 教育、研究、研修の充実を図る。
- 病院の管理・運営の合理化を推進する。

【患者さんの権利】

- ・個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- ・病気、検査、治療などについて、十分な説明を受け、理解した後、治療方法などを自らの意思で同意又は拒否を選択することができます。
- ・自分の診療記録について、本院の規則に則って情報の提供を求めることができます。
- ・診療における個人情報を守られ、プライバシーが最大限尊重されます。
- ・教育実習及び研究の協力者となることを断ることができます。
- ・医療行為の選択にあたっては、他の医療機関を選択することができます。
- ・診断や治療方法について、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- ・身体の不自由な方、外国人の方にも、できる限りの支援をいたします。

【患者さんにまもっていただくこと】

1. 良質な医療を実現するため、医療従事者に対し、患者さん自身の健康の情報を詳しく正確に伝えてください。
2. 納得できる医療を受けるために、検査や治療の内容を十分理解し、不明な点については十分質問し、合意の上でお受けください。
3. 病院内・敷地内での喫煙は、禁止しています。
4. 飲酒や他の方々への迷惑行為は、禁止しています。
5. 病院内での許可のない録音・録画・写真撮影は、遠慮ください。
6. 携帯電話の使用制限をしている場所での使用は、遠慮ください。
7. 病院内の設備や備品は、大切にご使用くださるようお願いいたします。破損、紛失などの場合は弁償していただくことがあります。
8. 暴力、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為があった場合は警察に通報することがあります。
9. 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。
10. 入院時は、
 - 1) 事故防止のため多額の現金や貴重品は、持ち込まないようお願いします。
 - 2) パソコン・DVD・ラジカセ等の電気製品は、持ち込まないようお願いします。
 - 3) 当院での駐車場は、外来患者専用となっておりますので、入院中は駐車場を利用できません。
11. 入院中は、
 - 1) 病院内ではリストバンドを着用してください。
 - 2) 外出・外泊をする場合は、医師・看護師長による外出・外泊許可証をもらってください。

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

